

## 第 172 回 相模原協同病院 治験審査委員会議事録 概要

|                     |  |
|---------------------|--|
| 開催日時<br>開催場所        | 令和 4 年 8 月 31 日 (水)<br>※COVID-19 の影響により対面形式以外の方法で治験審査委員会を開催し、審議・採決を行った   |
| 出席委員名               | 荒木 正雄、杉本 篤彦、木村 純人、鈴木 繁紀、阿部 徳子、剣持 博明、宮崎 聰、太附 広明、江口 善美、小野沢 信昭  |
| 議題及び<br>主な議論の<br>概要 | <p><b>【審議事項】</b></p> <p>① (治験国内管理人) IQVIA サービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした etrasimod の第 2 相無作為化、二重盲検試験<br/>当該治験における安全性情報に基づき、治験継続の妥当性を審議した。</p> <p>② (治験国内管理人) IQVIA サービシーズ ジャパン株式会社の依頼による潰瘍性大腸炎患者を対象とした etrasimod の第 3 相非盲検試験<br/>当該治験における安全性情報に基づき、治験継続の妥当性を審議した。</p> <p>③ バイエル薬品株式会社の依頼による左室駆出率 40% 以上の心不全患者 (NYHA 心機能分類 II~IV 度) における罹患率及び死亡率に関して、finerenone の有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験<br/>当該治験における安全性情報に基づき、治験継続の妥当性を審議した。</p> <p>④ 入院を要する日本人成人の複雑性腹腔内感染症患者を対象として PF-06947386 (セフタジジム・アビバクタム) に加えてメトロニダゾールを併用したときの有効性および安全性を評価する、多施設共同、非盲検、単群、第 3 相試験<br/>当該治験における安全性情報に基づき、治験継続の妥当性を審議した。</p> <p>⑤ 急性心筋梗塞患者を対象としたエンパグリフロジンの第Ⅲ相試験<br/>当該治験における安全性情報、治験の内容変更に関する情報に基づき、治験継続の妥当性を審議した。</p> |
| 審議結果                | ① 承認 ② 承認 ③ 承認 ④ 承認 ⑤ 承認   |
| その他<br>(報告事項)       | ①新規治験の打診状況について   |